

エコアクション 21 環境活動レポート

2016. 12～2017. 11
(2017 年度)

日本システム機器株式会社

承認	審査	作成
水野	水野	西山
2018 年 1 月 20 日	2018 年 1 月 20 日	2018 年 1 月 20 日

1. 事業活動

1. 事業所名：日本システム機器株式会社

代表者：代表取締役 水野 博之

2. 所在地

事務所：060-0031 札幌市中央区北1条東8丁目 片岡商事ビル

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：代表取締役 水野 博之

担当者名：総務課長 西山 弘子

連絡先：電話 011-241-2631

FAX 011-241-3606

E-mail staff@n-sys.co.jp

4. 事業内容の概要

- ・コンピュータ、事務用機器、事務用品の販売並びに修理
- ・コンピュータプログラムの作成、開発並びに修理
- ・土木建築用資材の製造、販売

5. 事業規模（主要製品の生産量・出荷額、従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	27年	28年	29年
主要製品生産量	t	58	53	59
従業員	人	10	10	10
床面積	m ²	165	165	165

6. 事業年度 12月1日~11月30日

7. E A 2 1 適用範囲

日本システム機器株式会社

2. 環境方針

環境基本理念

当社は、コンピュータ事業及び環境事業を通じ社員の環境に対する意識向上と環境保全活動や資源の有効利用を進め持続可能な社会に貢献します。

環境方針

事業活動の環境負荷を低減する為、エコアクション21のガイドラインに従い、環境マネジメント活動を推進します。

1. 環境保全活動を推進する為、定期的に取り組状況の評価を実施し、見直しを行い継続的に環境マネジメントシステムの改善を行ないます。
2. 事業活動において、法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. コンピュータ事業部門、環境事業部門共に、廃棄物の排出削減に取り組みます。
4. コンピュータ事業部門においてWebシステムのプログラム一元化による作業ロスの軽減と管理面強化を図ります。
5. 廃棄物を出さないリサイクル100%商品や自然循環型モノ作りを基本に商品開発を進めます。
6. コンピュータ事業部門、環境事業部門共に拡販及び情報提供を推進します。
7. 地球温暖化防止の為、車輦のアイドリングストップやエコカー導入、消費電力、冷暖房の削減に努めます。
8. オフィスでの事務・消耗品等の使用においてグリーンマーク商品の購入を推進します。
9. 地域社会の一員として、国や地方自治体等の実施する環境保全活動に全社員と積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
10. 環境基本理念・方針は社員に周知するとともに、社外の求めに応じ開示します。

改定日 2015年11月20日
日本システム機器株式会社
代表取締役 水野 博之

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期環境目標(2016年～2018年度)

(2015年度の実績値より目標策定する。)

環境目標	2015年度実績	2016年度目標	2017年度目標	2018年度目標
二酸化炭素排出量	5,360(Kg-CO2)	5,355(Kg-CO2)	5,350(Kg-CO2)	5,344(Kg-CO2)
電力使用量	7,848Kwh	7,840Kwh (▲0.1)	7,832Kwh (▲0.2%)	7,824Kwh (▲0.3%)
ガソリン使用量 (1台当り)	1792.27L (1台当り)	1774.35L(▲1%)	1772.55L (▲1.1%)	1770.76(▲1.2%)
廃棄物排出量	0.3945 t	0.3905 t (▲1%)	0.3885 t (▲1.5%)	0.3866 t (▲2%)
グリーン製品(事務・消耗品) の購入品目件数	59件	59件 (現状維持)	59件 (現状維持)	59件 (現状維持)
商品の情報提供 (展示会・勉強会開催)	21件	21件 (現状維持)	21件 (現状維持)	21件 (現状維持)
Webシステム一元化 導入件数	2件	5件	5件	5件

※北海道電力二酸化炭素排出係数 0.683 kg-CO2/kwh を使用 (二酸化炭素排出量は電力使用量のみ (ガソリン使用量及びガス使用量は含めない))

◆廃棄物を出さないリサイクル 100%商品や自然循環型の商品開発として

①塗壁材『北のやすらぎ』シリーズは全ての原材料にこだわった自然循環型素材で作っている商品です。

②その他・・・ 砂場の抗菌砂に代わる新商品を販売 (自然の原料を使用した商品)
環境事業部で製造販売しているその他商品は自然原料を特殊加工し製品としている。(長年製造・販売をしています。)

備考：①自動車燃料使用量目標値 …… 1台当りの削減数を設定する。

②2015年度Webシステム一元化導入実績は2件だが目標数値は5件とする。

③水使用量(排水量)は、共益費に含まれており把握することができないため、環境目標にはとりあげていない。ただし、節水のための日常管理は実施している。

④グリーン購入法・GNPエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証・木づかい運動マークの商品をグリーン製品とする。

⑤化学物質使用量は該当していない為環境目標には取り上げていない。

環 境 目 標	2015 年度実績	2016 年度実績	2017 年度目標	2017 年度実績
二酸化炭素排出量	5,360(Kg-CO ₂)	5,688(Kg-CO ₂)	5,350(Kg-CO ₂)	5,528.885(Kg-CO ₂)
電力使用量	7,848Kwh	8,328Kwh	7,832Kwh	8,095Kwh (+3.3%)
ガソリン使用量 (1 台当り)	1792.27L (1 台当り)	1349.39L 燃費 22.27Km/L	1772.55L (1 台当り)	1260.74L (▲28.87%) 燃費 21.23Km/L
廃棄物排出量	0.3945t	0.3399t	0.3885 t	0.392t (+0.9%)
グリーン製品 (事務・消耗品) の購入品目件数	59 件	71 件	59 件	69 件 (16.94%UP)
商品の情報提供 (展示会・勉強会開催)	21 件	39 件	21 件	19 件 (▲9.5%)
Web システム一元化 導入件数	2 件	5 件	5 件	2 件 (▲60%)

(※二酸化炭素排出量は電力使用量のみ (ガソリン使用量及びガス使用量は含めない))

◆廃棄物を出さないリサイクル 100%商品や自然循環型の商品開発として

①雪道の滑り止め材(自然の原料を使用した商品)→1997 年より継続し製造・販売しているが、新たに環境改良型素材として活用できないか検討している。

②室内の湿度調整をし住宅を長持ちさせる商品として自然素材を原料にした床下調湿材マットタイプの商品化をする。

備考：2017 年度ガソリン使用量目標数値は 1 台当りの削減数を設定する。

車両保有数 3 台・2015 年度 Web システム一元化導入実績は 2 件だが目標数値は 5 件とする。

4. 主要な環境活動計画の内容

(1) 総エネルギー量(総二酸化炭素排出量)の削減

●消費電力

※ 実 施 事 項 ※	担 当
暖房は室内温度 20℃を目安とする。冷房は室内温度 28℃を目安とする。	全員
ブラインドによる冷暖房の負荷の軽減。	全員
業務に支障のない範囲内での不要な照明の消灯、トイレの照明の消灯、昼休み時の照明の消灯。	全員
コピー機、パソコンは待機時に省エネモードに設定する。	全員
外出時や長時間、席を離れる場合はパソコンを OFF すること。	全員
電気ポットの勤務時間外の電源 OFF	総務

●自動車燃料の効率化

※ 実 施 事 項 ※	担 当
駐停車時のアイドリングストップ、急発進・空ぶかしの抑制、その他点検・整備の励行など。	各車両担当者

効率的な運行経路の推進。	各車両担当者
同方向（出張）等の連絡を密にし、自動車使用の効率化を図る。	各車両担当者
給油一覧表の実施。	各車両担当者

(2) 廃棄物量の削減

※ 実 施 事 項 ※	担 当
産業廃棄物・事務系一般廃棄物・再利用ゴミを分類する。	全員
リース終了時のパソコン等についてはリース会社に返却する。	コンピュータ事業部

●紙類使用量の削減

※ 実 施 事 項 ※	担 当
資料印刷、コピーは必要枚数を確認、最小限の部数での印刷を徹底する。	全員
印刷、コピー前に必ず内容確認し、ミスコピー、ミスプリント等を削減する。	全員
両面コピー、プリントが許容されるものは両面を使用する。	全員
社内、部門全体で使用する資料については共有化し、用紙の使用節減する。	全員
各自パソコンを利用し、回覧、予定表、資料等の社内文書を電子化を図る。	全員
使用済コピー用紙は社内文書や社内でのメモ書き等の用途で裏紙を再利用する。 (但し、顧客情報等が記載されている用紙については他の用紙とは別に管理することな処理う。)	全員
使用済みコピー用紙分別収納ボックス設置する	全員

(3) 水使用量の削減

※ 実 施 事 項 ※	担 当
トイレ等の水量を最小にする。	全員
こまめに節水する。	全員

(4) グリーン製品の購入（事務用品・消耗品等）

グリーン購入法・エコマーク・GPNエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証 商品をグリーン製品とする

※ 実 施 事 項 ※	担 当
コピー用紙は再生紙を優先購入する	全員
エコマーク・グリーンマーク品他を優先購入する。	全員

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) エネルギー量(二酸化炭素排出量)の削減

消費電力：年間目標 7832Kwh/5,350(Kg-CO2)に対して使用量 8095Kwh/5,528(Kg-CO2)

前年対比 3.3%増となった。

ガソリン使用量：年間目標 1台当り 1772.55Lに対して、使用量 1260.74L(燃費 21.23L)前年対比 28.87%減となった。従来通り各自エコドライブを意識することを徹底し、引き続き効率的出張計画をたて出張走行距離短縮を図ります。

(2) 廃棄物量の削減

年間目標 0.3885tに対して、0.392tと0.9%増となったが概ね達成できた。コンピュータ事業部・・・リース満了物件のパソコン等を自社で廃棄処分する事が増えてきた。環境事業部とも引き続き、削減活動を行う。

(3) グリーン製品購入

- ・グリーン製品購入・・・事務・消耗品類について品質や価格だけでなく環境負荷のできるだけ小さい商品を選んで購入する。
- ・事務機器メーカーアスクルでの対象商品・・・グリーン購入法適合商品・エコマーク商品・GPNエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証・木づかい運動マークの商品をグリーン製品とする。
- ・事務用品以外・・・コンピュータ関連備品についても環境に配慮した商品を使用している。

(4) 商品の情報提供

- ・環境事業部・・・毎年全国で開催される「環境イベント」や代理店主催の勉強会や展示会に積極的に参加し、自然循環型商品の開拓や拡販等環境活動に取り組んでいる。
- ・海外の代理店より「北のブランド2017」認証について問い合わせがあり、情報提供した。
- ・新聞に環境商品を掲載してもらい、認知度アップに繋がった。
- ・コンピュータ事業部・・・毎月1回～2回の展示会開催を目標にし取り組んだが、実際には3ヶ月毎に1～2回程度しか展示会・勉強会の開催は出来なかったが、目標は概ね達成出来た。
結果として毎年展示会・勉強会を実施しているため、環境事業部・コンピュータ事業部の取り扱い商品の認知度UPには繋がっている。

(5) 廃棄物を出さないリサイクル100%商品や自然循環型の商品開発

- ①雪道の滑り止め材(自然の原料を使用した商品)→1997年より継続し製造・販売しているが、新たに環境改良型素材として活用する為に用途・特徴を広く説明している。
- ②室内の湿度調整をし住宅を長持ちさせる商品として自然素材を原料にした従来からの敷き込タイプの床下調湿材に加えてマットタイプ床下調湿材を商品化し販売開始する。

(6) その他の取り組み

- ・継続してペットボトルキャップ収集活動等の積極的に取り組んでいる。
- ・札幌商工会議所より塗壁材『北のやすらぎシリーズ』が北海道を代表するにふさわしい独自のブランドとして認証され、引き続き北のブランド2017の認証更新し、道内外の展示会や商談会で認証状を展示しPR強化に取り組んだ。
- ・環境負荷低減型プリンターを3台導入した。(低消費電力や低ランニングコスト等業務効率アップになった。)

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用となる主な環境関連法規については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、札幌市における規制基準の遵守を行なっている。また、違反や訴訟等については、1件もない。

7. 代表者による全体評価と見直し結果

① 環境方針について

特に変更なし

日常的なエネルギー節約のルールを決め、取り組んだ結果、活動自体は定着しています。引き続き取り組みの推進を図ることとします。

② 環境活動の実施状況と環境目標の達成状況

活動については計画通り実施している。

ガソリン使用量については目標は達成できた。今年度は燃費での管理も検討したが、これ以上の削減が見込めない為従来通りの活動とした。来期より車輛入替時に運転安全サポート機能を導入する。

また、来期はエコカー1台を入替予定。

その他の目標数値については電力使用量・廃棄物排出量・商品情報提供件数・WEBシステム一元化導入数は未達成だった。電力使用量・廃棄物排出量については、さらなる削減は厳しい状況ではあるが、日々、削減努力の徹底をすること。商品情報提供件数やWEBシステム一元化については、今後営業活動を展開し、件数増加を図り売上増に繋げること。

③ 環境法規制及びその他の要求事項の順守状況

問題なし。・産業廃棄物管理票交付状況報告書を札幌市に提出

④ その他・・・今年度も北海道庁ロビーや地下街歩行空間でのパネル展示し、少しでも多くの人に知ってもらう為にも各種イベントで環境活動を説明している。

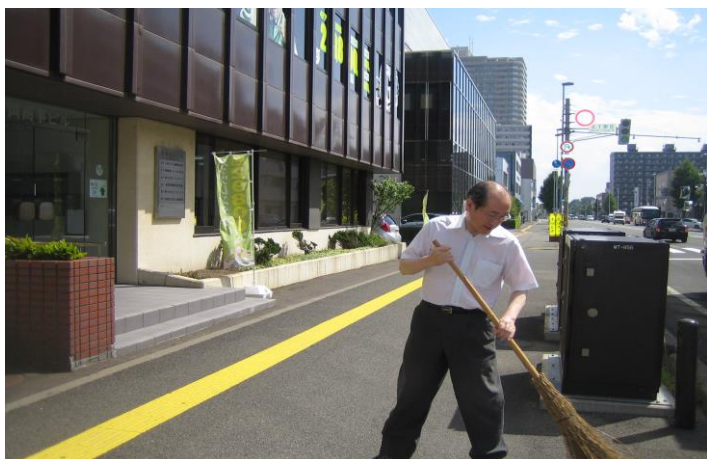
・札幌商工会議所より塗壁材『北のやすらぎシリーズ』が北海道を代表するにふさわしい独自のブランドとして認証され、引き続き 北のブランド2017の認証更新し、道内外の展示会や商談会で認証状を展示しPR強化に取り組んだ。又海外の代理店へ北のブランド2017 認証についてや新聞掲載された環境商品の記事等情報を提供した。海外での認知度アップに繋がった。

・平成28年エコアクション21 認証登録10年継続事業者として表彰された。

・環境負荷低減型プリンターを3台導入した。(低消費電力や低ランニングコスト等業務効率アップにながった。)

※8月5日(土) 事務所周辺 清掃活動

※ 8月5日(土)毎年実施している『クリーン作戦』 事務所周辺の歩道や近所の保育所近くのゴミを拾う空き缶やタバコの吸殻・落ち葉等を社員で集め清掃に取組んだ。清掃活動を通して地域貢献に努めていきます。



※10月7日(土) 火災による避難訓練 開催

※避難訓練計画通りに行った。

その後、全体会議にて地震等に備えて、防災意識を高めることを全員で再確認した。

※ 私達の取り組み活動 ※

資源の節約

シュレダー紙入れ BOX や古紙入れ BOX 設置や事務所内に裏紙再利用の為、紙分別 BOX を設置。裏紙の再使用率 UP につながった。シュレダーゴミ・使用済(古紙)はリサイクル業者へ。



二酸化炭素の削減



節水の励行

使用していない場所の不要な照明の消灯表示

給湯室やトイレでの節水表示



その他



ペットボトルのキャップを集めることで世界の子供にワクチンを送ることが出来ます。